

デジタル時代の著作権協議会(CCD)権利問題研究会 平成22年度 第1回研究会

開催日時:平成22年7月16日(金)

午前10時～午後0時

開催場所:社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 会議室

・議事次第

1. 許諾コードの実装事例

① 「FIFAワールドカップに関する、インターネット配信における不正流通モニタリングスキーム」に関して

〈発表者〉

- ・株式会社 Long Tail Live Station
チーフテクニカルアドバイザー 瀧川 淳氏
チーフテクニカルエンジニア 鈴木 久晴氏

② 「多元型権利処理の実証事業」に関する報告

〈発表者〉

- ・株式会社電通 ビジネス統括局 プラットフォーム・ビジネス開発室
テクノロジー開発部 DRPC推進プロジェクト
プロジェクト・マネージャー 中西 康浩氏

2. その他

・議事概要

(1) 議事1の①について

- ・株式会社Long Tail Live Stationの瀧川氏、鈴木氏より、同社の映像コンテンツ特定技術(フィンガープリント)及び株式会社電通の著作権データベースと連携した、動画監視スキームの説明が行われた。
- ・また、同社が実施している、Web上での動画流通量を測定するソリューション「ADVIEW」や、韓国で先行実施されている課金・収益を分配するソリューション「Platform-V」の説明が行われた。

(2) 議事1の②について

- ・ 管理事業者等があらかじめコンテンツの許諾条件を定め、利用者がその条件に従うことで容易に権利処理が行える『一元型権利処理』以外の、権利者と利用者の中で個別の交渉や契約が必要となる権利処理手続きである、「多元型権利処理システム」について、株式会社電通の中西氏より説明された。
- ・ 昨年度同実験システムを用いた実証実験と、有識者による検討委員会を実施し、課題の整理と方向性の明確化が図られたことが報告された。
- ・ また、次年度以降の課題及びそれを解決するために行う予定の施策につき、合わせて説明された。

(2) 議事2について

- ・ 事務局より、次回は、9月17日（金）の10:00～12:00に、ACCS会議室で開催することが報告された。

以上